

## 室戸世界ジオパークの生き物ウォッチング！

### 1. 事業の概要

#### ○ 事業の趣旨

自然豊かな室戸において、動物の専門家とともに生き物の調査や観察を通して自然に対する理解を深め、生き物への興味関心を育む。

#### ○ 実施期間

第1回 平成30年 9月1日（土）～平成30年 9月2日（日）1泊2日

第2回 平成30年11月3日（土）～平成30年11月4日（日）1泊2日

#### ○ 対象者・参加者数（人数／定員）

小学生児童、未就学児とその保護者

第1回 7家族 16名／定員20名 第2回 7家族 18名／定員20名

#### ○ 活動プログラム

1日目	2日目
12:50 室戸世界ジオパークセンター着（自然の家バス）	6:00 起床・出発
13:10 オリエンテーション	6:15 仕掛け確認・観察・片付け
13:20 室戸ジオパークの説明	7:45 朝食
14:00 コウモリの棲む洞窟前にて説明	8:15 部屋の掃除等
15:20 コウモリ・ネズミの罠仕掛け設置	9:00 動物カメラ探しオリエンテーリング
17:00 自然の家入所オリエンテーション	9:40 動物カメラ映像鑑賞
17:30 夕食	10:00 四国のほ乳類の話
19:00 レクリエーション	10:30 ふりかえり
20:00 入浴	10:45 まとめ
21:00 コウモリの仕掛け確認	11:00 終了
22:00 就寝	11:20 自然の家発（自然の家バス）

### 2. 活動の様子

#### <1日目>

オリエンテーションでは、スタッフの紹介に合わせ、参加家族ごとの自己紹介を行った。その後、参加者は最御崎寺近くのコウモリが生息する洞窟に向かい、講師の谷地森氏によるコウモリの生態に関する話を聞いた。また谷地森氏が洞窟から捕獲したコウモリを観察する場面では、参加者全員がコウモリの間近に寄り、興味深く手足などを観察したり、写真撮影をする様子が見られた。



その後は、自然の家に移動し、コウモリ・ネズミの罠の仕掛けを家族ごとに作成した。組み立ての際には谷地森氏と助手の指示を聞きながら、初めての道具を一生懸命に組み立てる様子が見られた。

夕食後のレクリエーションでは、生き物になりきる「動物交差点」と「バットとモス」のゲームに盛り上がり、参加者から大きな歓声が上がっていた。その後は場所を移動し、家族ごとにランタン1つを持ち、ナイトハイクを行った。途中でランタンを消して静けさを感じる時間では、低学年の児童が暗い恐さで泣き出す場面もあったが、展示棟屋上で星空を見上げる頃には落ち着いていた。雲一つない満天の星空で、特に保護者からは感嘆の声が上がっていた。

21時からの罠確認では、3匹のコウモリ捕獲することができた。コウモリの体の測定や性別・成長段階等の判断について谷地森氏から話があり、参加者から多くの質問があがった。参加者は、手袋をした手で捕まったばかりのコウモリを触るなど、興味深く観察する様子が見られた。



#### <2日目>

2日目は、早朝から罠を確認し、コウモリとネズミそれぞれ1匹ずつの測定・観察を行い、その後は全員で協力し、罠の片付けを行った。動物カメラ探しオリエンテーリングでは、森に設置している3台のカメラを探すゲームを行った。カメラを見つけた後には谷地森氏による森のガイドが行われ、ネズミが棲家としていた鳥の巣箱の説明では、草で敷きつめられた巣箱の様子をととても興味深そうに覗く様子が見られた。



動物カメラ探しオリエンテーシで持ち帰ったカメラの映像鑑賞では、タヌキや鹿などが映っており、参加者は映像に見入っていた。四国のほ乳類の話では、四国に生息する熊やオオサンショウウオ等の希少な生き物について撮影映像とともに話があり、特に参加児童は非常に興味津々の様子であった。最後のふりかえりでは、家族ごとに2日間の感想を述べ、コウモリを間近で見て感動したことや印象に残ったことなどが発表され、2日間の思い出を参加者全員で共有した。

### 3. 事業の成果と課題

#### ○ 参加者の感想

- ・コウモリとネズミを見れてよかった。初めて見た。
- ・オオサンショウウオの説明がすごくおもしろかった。
- ・巣箱にネズミが葉っぱを敷き詰めているのが面白かった。
- ・親子で、ここでしか体験できないことが、体験できて良かったです。
- ・ナイトハイクで、天然のプラネタリウムを見られてよかった。

#### ○ 事業の成果

- ・日頃見る機会のないネズミやコウモリの観察や、動物・自然と人間との関わりのお話をするなかで、子どもたちの自然への興味を十分に引き出すことができた。
- ・昨年に比べ、レクリエーションゲームやナイトハイクを取り入れたところ、参加者から好評であった。また、満天の星に感動する声も多かった。生き物の観察が中心の事業ではあるが、自然の家の環境を活かした活動の提供ができた。

#### ○ 事業の課題

- ・1日目の最御崎寺近くの洞窟前での説明では、冬眠前のコウモリにストレスを与えるため、洞窟内に入っていないが、参加者からは入って見たかったという声もあった。今後は写真や動画で洞窟内の様子を見せられるよう検討したい。
- ・森での動物カメラ探しオリエンテーリングでは、多少傾斜のある場所を通るが、参加児童の様子から少しリスクを感じるため、通る道の再検討を行う必要がある。